

最近の雇用失業情勢（令和7年3月の内容）

1 県内概況

「有効求人倍率は1.35倍（季調値）」（前月と同水準）

[概況]

- 「雇用情勢は、**改善の動きが弱まっている**。物価上昇等の影響に十分注意する必要がある。」
- 有効求人倍率は**前月と同水準**。

[基調判断]

- **《情勢維持》**

[判断根拠]

- 有効求人倍率が上昇しているが、一時的な動きも含めて、今後の状況を注視する必要があるため。

2 各指標の動向

新規求人数は運輸・郵便業、公務・その他等で増。医療・福祉等で減。

[新規求人数]

当月：4,959人 運輸・郵便業、公務・その他等の増員等により+60人
（前年同月 1.2%増）

[産業分類別]

○「増」（対前年同月比）
【運輸・郵便業】当月：270人 前年同月：+48人
【公務・その他】当月：199人 前年同月：+43人
【建設】当月：453人 前年同月：+40人

○「減」（対前年同月比）
【医療・福祉】当月：1,009人 前年同月：-84人
【卸・小売業】当月：842人 前年同月：-15人
【宿泊・飲食サービス業】当月：362人 前年同月：-13人

[地域別求人倍率]

【鳥取所】当月：1.26倍 前年同月：+0.16P
【米子所】当月：1.42倍 前年同月：-0.10P
【倉吉所】当月：1.51倍 前年同月：+0.13P

[正社員関連]

有効求人倍率 1.12倍（5か月連続で前年同月を上回る）
→全国指標1.05倍（6か月連続で前年同月を上回る）

[新規求職者数]

当月：2,207人（前年同月6.4%増）